

感染対策情報

R5年4月

高齢者施設の感染対策

高齢者介護施設の特徴

- ✓ 入所者、通所者は抵抗力が弱い高齢者
- ✓ 感染すると重症化しやすい
- ✓ 集団で生活しているため感染拡大のリスクが高い
- ✓ 症状がはっきりせず診断が遅れやすい
- ✓ 認知機能が低下している場合は、衛生管理、感染対策への協力が得られにくい

注意すべき主な感染症

入所者・利用者および職員が感染し、媒介者となりうる集団感染のリスクの高い感染症

感染症	主な症状
インフルエンザ	発熱 悪寒 関節痛 筋肉痛 倦怠感、咽頭痛 咳
感染性胃腸炎	下痢 嘔吐 嘔気 腹痛
疥癬	皮膚の丘疹や結節 掻痒感
結核	咳 痰 微熱 倦怠感 寝汗 食欲不振

集団感染を予防するためには

地域の流行状況の把握しておく
日ごろからの標準予防策の実施
感染症が判明するまでのタイムラグを考慮
入所者や通所者の感染徴候の早期発見と早期対応
感染徴候から疑われる感染症を考慮して対策を実施
通所者や面会者、職員からの持ち込み防止
通所者や面会者のスクリーニング
感染症（疑いを含む）を発症した職員対応の遵守
手指衛生と咳エチケット



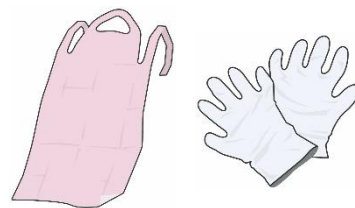
標準予防策の実施が最も重要

ケア前後、1ケア毎に手指衛生を行う
食事介助前後、排泄介助（おむつ交換を含む）前後、医療処置前後 など
手袋やビニールエプロンは患者ごと、ケア毎に交換する
手袋やビニールエプロンを外したら手指衛生を行う
入所者、通所者の手指衛生
排泄後や食事前、外出後など自身でできない場合は、ウェットティッシュや擦式アルコール
手指消毒薬を活用し介助する

おむつ交換

手袋、ビニールエプロンを着用する

必ずひとりのおむつ交換毎に手袋、
エプロンを交換
外した後に手指衛生を行う



おむつ交換車は感染拡大のリスクが高くなるため、
使用を避ける
やむを得ず使用する場合は、清潔と不潔のゾーニング
を徹底する

入所者ひとりごとに陰部
洗浄ボトルを交換